

横手城南高校 アクティブボランティア 第2弾
令和5年度 山内三又地区
山内にんじん収穫ボランティア

秋が深まりつつある令和5年10月28日(土)。今年度第2弾の横手城南高校アクティブボランティア「山内三又地区山内にんじん収穫ボランティア」が開催された。



はじめに、山内三又営農生産組合の方から今年の山内にんじんについて説明していただいた。

異常なほどの今年の夏の暑さのせいで、山内にんじんは育たなかったのだそうだ。水分不足でにんじんは短く、今年は簡単に抜けてしまうと残念がっていた。水分を求めたにんじんから、たくさんの白いひげが生えており、これまで見てきた山内にんじんとは異なる姿をしていた。「これが山内にんじんだとは思わないで欲しい。

でも失敗するようになってしまうのだということもわかってほしくて、今年のボランティアも開催した」とおっしゃっていた。

今回参加したのは、1年生が6人と3年生が8人。1年生は営農生産組合の方から掘り方を教わりながら、にんじんを掘り始めた。3年生はほぼ全員が田植えも含めて2度目以上の参加だったので、全体的に慣れていて、作業も早い。例年はショベルやスコップで深く掘らなければにんじんを掘り出せないほど苦勞することを知っているの、そのつもりで取りかかるとやはり、想像以上に簡単ににんじんが掘れてしまった。



1年生と3年生は別の畑で作業をしていたが、3年生の畑には昨年と同じ保育園の園児が16ほどやってきて、一緒ににんじんを掘り始めた。様々な形のにんじんを見て大喜びしながら昼前には、予定の作業を終えた。

最後には園児たちから、お礼の歌を歌ってもらったり、にんじんをマイク代わりにインタビューされたり、のどかで楽しい時間が過ぎていった。

なお、園児が帰った後で営農生産組合の方からいものこ汁とご飯をごちそうになったが、なんと春に植えた米を食べさせてもらった。締めくくりは感慨深いものとなった。